

Health Care

まちの 保健室



若いうちからの胃がんリスク検診

ピロリ菌は1980年代に発見された新しい細菌で、胃の強い酸の中でも生きることができる菌です。

ピロリ菌は消化機能が未熟な幼少期に感染し、大人になってからは感染しないとされています。近年では、30代までの若年層においては感染者が減少していますが、上水道が完備されず、井戸水などを幼少期から飲むことが多かった40代以上の年齢層において、感染率が高い状況にあります。現在の感染の大きな原因は、ピロリ菌に感染している人から子どもに感染する家庭内感染だとされています。

平成26年にWHO（世界保健機関）は、「胃がん患者の約80%の人は、ピロリ菌感染が原因である」と発表しま

した。ピロリ菌に感染した場合は、感染期間が長いほど、胃がんのリスクが高まります。健康診断などでピロリ菌感染が見つかったら、早期の除菌治療について、医師への相談をお勧めします。

また市では、平成26年度から30代健診を行っています。平成29年度からは、これまでの血液検査項目に新たに「ピロリ菌・胃がんリスク検査」を追加実施します。早期のピロリ菌対策とがん検診で、胃がん発生を予防しましょう。

問 市保健相談センター ☎ 0994-41-2110

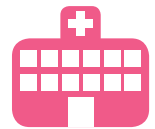
胃がんリスク検診とは？

2種類の血液検査結果を組み合わせ、将来の胃がん発生の危険度を4段階に判別する検査です。体内のピロリ菌の有無と、胃の荒れ具合の目安となる「血清ペプシノゲン値」の状況により、胃がんの危険度がAからDの4段階に分類されます。

胃がんリスク検診(ABC検診)による分類

	A	B	C	D
ピロリ菌の有無	陰性	陽性	陽性	陰性
血清ペプシノゲン値	陰性	陰性	陽性	陽性
胃がん発生の危険度	非常に低い	中等度	高い	非常に高い

3月・4月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医



鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月日	医療機関	住所	電話(0994)
3月19日	④ 池田病院	下祓川町	43-3434
	① こだま小児科	笠之原町	41-5111
	⑥ 池田病院	下祓川町	43-3434
20日	⑤ 長崎内科	笠之原町	43-2195
	④ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	⑧ 検見崎病院	西原1丁目	43-2991
26日	⑤ 中原クリニック	横山町	48-2011
	① おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	⑥ そえじまクリニック	旭原町	41-6800
4月2日	⑤ 森田胃腸科内科医院	郷之原町	40-2822
	④ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	⑥ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
9日	⑤ 福田病院	寿3丁目	43-4191
	④ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	⑥ 大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
16日	④ みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	④ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	⑥ かのや東病院	笠之原町	42-3111

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月日	医療機関	住所	電話(0994)
3月19日	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
	児玉医院	東串良町川東	63-8522
26日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	山路医院	東串良町池之原	63-2134
4月2日	高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
9日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	新中須医院	東串良町池之原	63-2010
16日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月日	医療機関	住所	電話(0994)
3月19日	ひらおか歯科	新川町	41-3060
20日	ひらたデンタルクリニック	札元1丁目	45-4929
26日	水口歯科医院	寿2丁目	43-4635
4月2日	吉留歯科医院	旭原町	42-3708
9日	あおぞら歯科	西原1丁目	36-5688
16日	すみの歯科医院	寿3丁目	42-2959

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス

☎ 0994-43-0119

平日/午後5時から夜間救急当番医を案内
 ※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。
 休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。

※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日ばかりつけの医師などの診療を受けてください。

原則として、投薬期間は通常1日分とします。